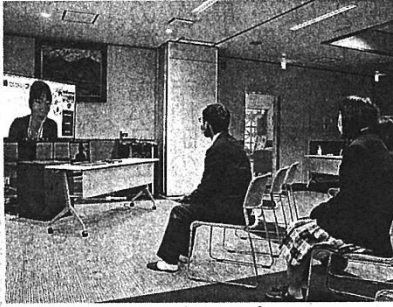


獣害対策 オンラインで協議

篠山東雲高生らが報告

丹波篠山

獣害対策と地域活性化について考える「第3回獣がいフォーラム」がこのほど、初めてオンラインで開催された。丹波篠山市の高校生らがビデオ会議アプリ「Zoom（ズーム）」を通してそれぞれの活動を発表した。写真。



丹波篠山市有害鳥獣対策推進協議会などで行く実

行委が主催。これまで、対策に取り組む集落の見学やシンポジウムなどを催してきたが、今年は新型コロナウイルスに考慮し、オンライン開催となった。

フォーラムでは、同市から篠山東雲高校(同市福住)の生徒たちが「丹波篠山の獣がいの現状と地域の取り組み」と題した動画を再生。地域住民の声や、野生動物の捕獲方法などを紹介した。

これに先立ち、2019年に同市と鳥獣被害対策などの協定を結んだ島根県美郷町の住民が、イノシシ肉を使ったイベントなどの取り組みを紹介。同町職員、さんが、産官学民が連携した鳥獣害対策「美郷パ

レ」について説明、「他の地域と情報共有し、どのように盛り上げていくか考える時代に来ている」と話した。そのほか、実行委員を務めるNPO法人「里地

神戸新聞
2021年4月2日

里山問題研究所」代表理事の、さんらによるパネルディスカッションなどもあった。(網嶋葉名)